

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

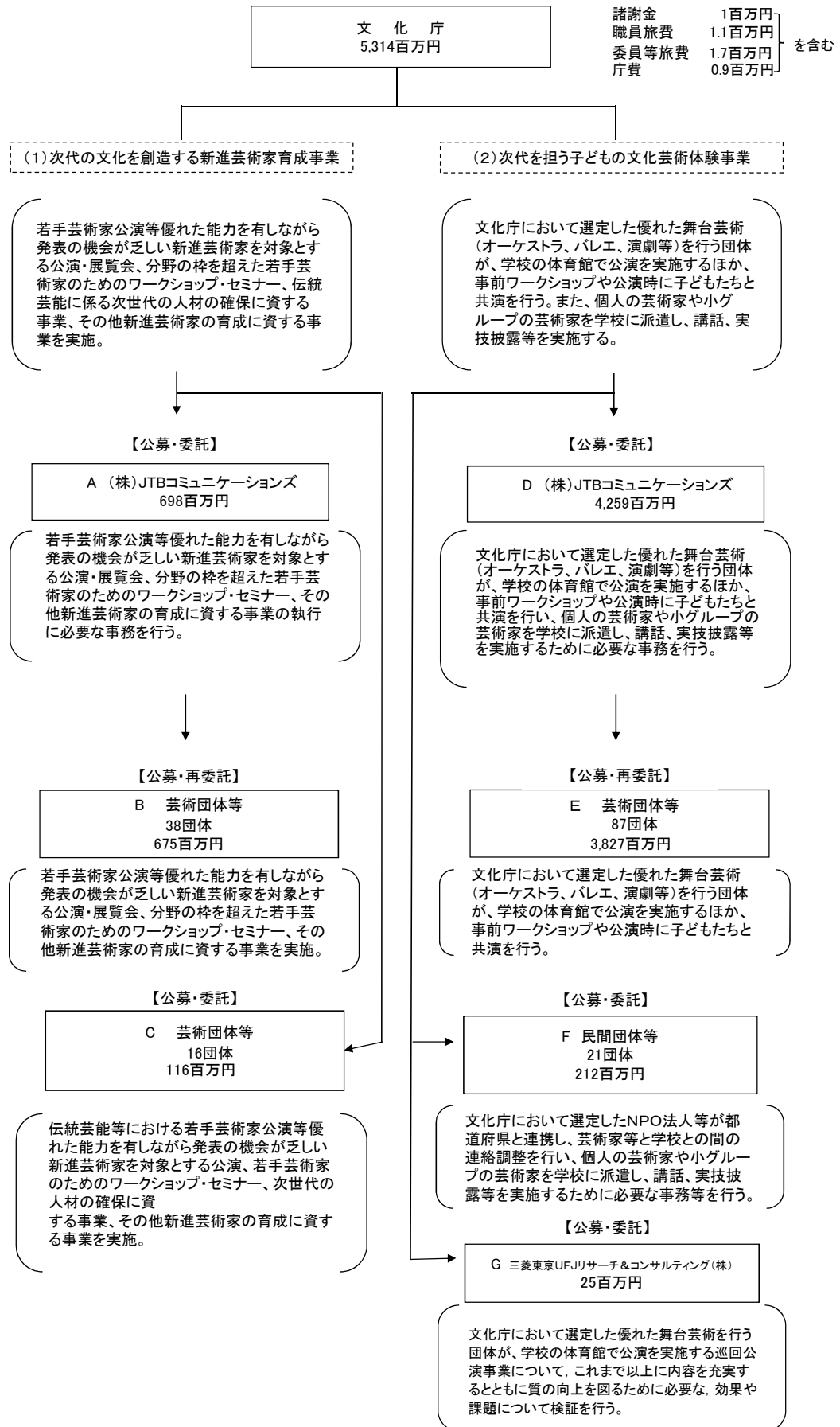
事業名	文化芸術による次世代人材育成プロジェクト	担当部局庁	文化庁	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～終了年度未定	担当課室	文化部芸術文化課 文化財部伝統文化課	芸術文化課長 舟橋 徹 伝統文化課長 平林正吉				
会計区分	一般会計	政策・施策名	XⅢ 文化による心豊かな社会の実現 XⅢ-1 芸術文化の振興					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	文化芸術振興基本法 第16条、第24条	関係する計画、 通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針) (平成23年2月8日閣議決定)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	若手クリエイターや新進芸術家、創造性豊かな子どもの育成など、クールジャパン戦略の推進や、未来への先行投資による「強い人材」の実現を図り、文化芸術による創造的な産業育成と新たな雇用の創出を通じて、元気な日本を復活させる。 (1)次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 新進芸術家等が基礎や技術を磨いていくために必要な舞台などの実践の機会や、広い分野に関する知識を身につける場を提供するとともにその基盤整備を図り、次代を担い、世界に通用する創造性豊かな新進芸術家の育成等に資する。 (2)次代を担う子どもの文化芸術体験事業 小学校・中学校等において一流の文化芸術団体による巡回公演を行い、又は小学校・中学校等に芸術家を派遣することにより、次代の文化の担い手となる子どもたちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図り、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげる。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	(1)次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 若手芸術家公演等優れた能力を有しながら発表の機会が乏しい新進芸術家を対象とする公演・展覧会、分野の枠を超えた若手芸術家のためのワークショップ・セミナー、その他新進芸術家の育成に資する事業を実施。 (2)次代を担う子どもの文化芸術体験事業 対象:小学校・中学校・中等教育学校・高等学校・特別支援学校の児童・生徒 【巡回公演事業】 文化庁において選定した優れた舞台芸術(オーケストラ、バレエ、演劇等)を行う団体が、学校の体育館等で公演を実施するほか、事前ワークショップや公演時に子どもたちとの共演を行う。 【派遣事業】 個人の芸術家や小グループの芸術家を学校等に派遣し、講話、実技披露等を実施する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算		5,740	5,346	5,965	7,442	
		補正予算		-	△ 0	-		
		繰越し等		-	-	-		
		計		5,740	5,346	5,965	7,442	
	執行額			5,660	5,314			
執行率(%)				98.6%	99.4%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	(1)次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 研修・発表の機会を提供した新進芸術家の毎年度延べ人数		成果実績	人		5044	集計中	2500
	※人材育成については、その成果が出るまで長期間を要するものであり、指標の策定は困難である。		達成度	%		202	集計中	
	(2)次代を担う子どもの文化芸術体験事業 子どもたちが優れた舞台芸術を鑑賞・体験することにより「舞台芸術への関心を高めることができた」と回答した開催校の割合		成果実績	%		97.2	集計中	100
			達成度	%		97.2	集計中	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	(1)次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 事業実施件数		活動実績 (当初見込み)			73 (45事業)	56 (38事業)	— (63事業)
	(2)次代を担う子どもの文化芸術体験事業 子どもたちが文化芸術に触れられる機会の提供 (学校等における巡回公演数及び学校等への芸術家派遣箇所数)		活動実績 (当初見込み)			巡回公演1,610公演 派遣1,832箇所 (巡回公演1,507公演) (派遣2,474箇所)	巡回公演1,533公演 派遣1,973箇所 (巡回公演1,393公演) (派遣2,464箇所)	— (巡回公演1,477公演) (派遣2,612箇所)
単位当たりコスト	(1)次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 (14.5百万円/1事業あたり) (2)次代を担う子どもの文化芸術体験事業 巡回公演事業(2,518,825円/1公演あたり) 派遣事業(231,453円/1箇所あたり)		算出根拠	(1)次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 平成24年度実績額 814百万円/56事業 (2)次代を担う子どもの文化芸術体験事業 巡回公演事業:3,861,358,000円/1,533公演 (再委託費+児童・生徒の移動にかかる経費)/実施公演数 派遣事業:456,656,150円/1,973箇所 (講師派遣にかかる経費(謝金・旅費・諸雑費)/実施箇所数				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	2百万円	2百万円	「新しい日本のための優先課題推進枠」6,261百万円				
	職員旅費	2百万円	2.1百万円					
	委員等旅費	2百万円	3百万円					
	庁費	1百万円	1百万円					
	文化芸術振興委託費	5,958百万円	7,435百万円					
	計	5,965百万円	7,442百万円	※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない				

事業所管部局による点検			
	項 目	評 価	評価に関する説明
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	(1)次代を担う新進芸術家育成事業 次代を担う新進芸術家の育成は国の責務であり、芸術分野において国が実施することを強く実施を求められている。また、芸術各分野の人材育成を総合的に実施し得る団体は国のほかにない。 なお、平成21年の内閣府「文化に関する世論調査」では、文化芸術の体験・活動の重要性を肯定する者は88.4%にのぼり、44.2%の者が文化芸術を支える人材の育成について国に力を入れてほしいとの回答をしている。また、「文化芸術の振興に関する基本的な方針(第三次)」においても、芸術家等の人材育成は重点的に取り組むべき施策としてあげられている。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	(2)次代を担う子どもの文化芸術体験事業 平成21年の内閣府「文化に関する世論調査」では、平成23年に文化庁が行ったアンケート調査では、子どもの文化芸術体験について、「重要である」と回答した者は9割を超え、重要と思う事項については「学校における公演などの鑑賞体験を充実させる」と回答した者が最も多く約6割である。また、平成23年度に文化庁が実施した調査では、本事業により当該分野の公演を初めて体験した子どもの割合は64.3%にのぼり、子どもたちに本物の文化芸術に触れる機会を提供する上で、本事業は極めて重要な役割を果たしていると言える。また、「文化芸術の振興に関する基本的な方針(第三次)」においても、子どもが学校等において本物の文化芸術に触れることを「重点戦略3 子どもや若者を対象とした文化芸術振興策の充実」として位置づけている。
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	(1)次代を担う新進芸術家育成事業 支出先の選定にあたっては、企画競争を実施するとともに、再委託先の選定にあたっては、有識者からなる委員会において選定を行っている。また、中間段階での支出についても、事業執行に必要な経費であり、支出は合理的である。
	受益者との負担関係は妥当であるか。	—	
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○	また、企画提案要領のペーパーレス化を実施するなど、経費の削減に努めている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	(2)次代を担う子どもの文化芸術体験事業 支出先の選定にあたっては、企画競争を実施するとともに、再委託先の選定にあたっては、有識者からなる企画委員会において選定を行っている。また、事業実施に当たっては、新作ではなく既に実施されている演目として、連続した公演日とすること等により、単位当たりのコストの節減に努めている。資金の流れの中間段階での支出についても、事業執行に必要な経費であり、支出は合理的である。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	また、舞台芸術公演に際して必要な経費を計上しており、適切に執行している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	(1)次代を担う新進芸術家育成事業 本事業における年鑑等の成果物については、一般に広く公開されており、十分に活用されている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	(2)次代を担う子どもの文化芸術体験事業 本事業は、小学校・中学校等において一流の文化芸術団体による舞台芸術公演や個人の芸術家による講演等を実施するものであり、これを他の手段・方法等で実施することは困難である。また、本事業では、施設の整備等を行ってはいない。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名
点検結果	(1)次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 本事業については、芸術分野において国が実施することを強く求められている事業であり、会計面においても適切に実施されている。なお、芸術分野において、本事業を実施する意義は非常に大きく、平成25年度からは新たに芸術系大学が芸術団体等と連携して行う新進芸術家の育成事業の支援を開始することになっており、今後とも適切に事業を実施していく必要がある。		
	(2)次代を担う子どもの文化芸術体験事業 本事業は、第三次基本方針の重点戦略に位置づけられている事業であり、教育委員会や学校からも国による実施を強く求められている事業である。また、支出先の選定においても競争性が確保されており、会計処理についても適正になされている。将来の芸術家や鑑賞者の育成を図るうえで、本事業を実施する意義は非常に大きいことから、今後とも国が適切に事業を実施していく必要がある。		
外部有識者の所見			
外部有識者による点検対象外			

行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	1. 事業評価の観点:本事業は、次代の文化を創造する新進芸術家の育成及び次代を担う子どもの文化芸術体験を促進することにより、未来への先行投資による「強い人材」の実現を図り、文化芸術による創造的な産業育成と新たな雇用の創出を図る事業であり、事業成果等の観点から検証を行った。 2. 所見:本事業のうち、「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」は予定を上回る実施件数の実績となっているところ、引き続き効率的な執行に努めるとともに成果指標の設定を検討すべきである。また、「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」についても同様に効率的な執行に努めるとともに、第3次基本方針等を踏まえ、体験活動とコミュニケーション能力育成をより効果的に結びつけるよう事業内容の再点検を行うべきである。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	本事業のうち、「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」については、今年度から芸術系大学等の人材育成のノウハウを広く各分野の芸術家等の育成に生かすべく、芸術系大学等が実施する人材育成事業に対する支援を開始したところであり、その実効性の検証も含め、より効果的な人材育成が図られるよう、事業の適切な執行を実施する。 また、「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」については、見直しにより廃止し、概算要求に▲4,784百万円を反映した。なお、複数校による合同開催を推進するなど、より効率的な事業実施に努める一方、子供たちの思考力やコミュニケーション能力などを養うため、従来の巡回公演や芸術家の派遣事業に加え、芸術家による表現手法を用いた計画的・継続的なワークショップ等を実施するとともに、義務教育期間中の子供たちが質の高い文化芸術に触れる機会を大幅に拡充することとし、平成26年度において新規事業として要望している。					
備考						
【文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針)】 http://www.bunka.go.jp/bunka_gyousei/housin/kihon_housin_3ji.html						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	新23-0084	平成24年	0403

※平成24年度実績を記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(株)JTBコミュニケーションズ			E.特定非営利活動法人 関西フィルハーモニー管弦楽団		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
外部委託	新進芸術家の育成に必要な公演・研修等の実施	675	事業費	子どもたちに優れた文化芸術の体験機会提供する公演等の実施	101
人件費	事業実施に係る人件費	15			
役務費	ホームページ作成、管理システム構築等	3			
諸謝金	選考委員会委員謝金	1			
その他	選考委員会会場費、選考委員会資料作成費、通信運搬費等	2			
一般管理費	一般管理費	2			
計		698	計		101
B.公益財団法人日本劇団協議会			F.特定非営利活動法人 PAVLIC		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	新進芸術家の育成に必要な公演・研修等の実施	103	旅費	派遣事業に係る講師及び事務局の旅費	16
			諸謝金	派遣事業に係る講師謝金	9
			人件費	事業実施に係る人件費	5
			一般管理費	一般管理費	3
			演技指導に係る経費		0.3
計		103	計		33
C.(社)伝統歌舞伎保存会			G.三菱東京UFJリサーチ&コンサルティング(株)		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	裾野の人材確保に必要な公演・実習の実施	21	人件費	事業実施に係る人件費	20
			事業費	事業実施に係る旅費、諸謝金、印刷費	2
			一般管理費	一般管理費	2
				※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。	
計		21	計		25
D.(株)JTBコミュニケーションズ			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
外部委託	本公演及び事前ワークショップに要する経費	3,827			
諸謝金	派遣事業に係る講師謝金	193			
旅費	派遣事業に係る講師及び児童生徒移動旅費	121			
人件費等	事業実施に係る人件費・広報経費等	79			
一般管理費	一般管理費	39			
計		4,259	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)JTBコミュニケーションズ	新進芸術家の育成に資する事業の執行に必要な事務を行う。	698	企画競争	—

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益社団法人 日本劇団協議会	日本の演劇人を育てるプロジェクト	103	企画競争	—
2	社団法人 日本演奏連盟	新進演奏家育成プロジェクト	58	企画競争	—
3	日本演出者協会	次代の若手演出家育成事業	56	企画競争	—
4	特定非営利活動法人 ジャパン・コン テンポラリーダンス・ネットワーク	「踊りに行けぜ！！」Ⅱ(セカンド)	40	企画競争	—
5	公益社団法人日本バレエ協会	新進バレエ芸術家育成支援事業	39	企画競争	—
6	社団法人 現代舞踊協会	現代舞踊新進芸術家育成Project	38	企画競争	—
7	財団法人 新国立劇場運営財団	①バレエ・アステラス☆2012～海外で活躍する日本人ダンサーを迎えて～ ②エ トワールへの道程2013	30	企画競争	—
8	公益財団法人 舞台芸術財団演 劇人会議	世界を目指す劇場芸術家養成事業—利賀演劇コンクール	29	企画競争	—
9	株式会社 アート・ベンチャー・オ フィス ショウ	「未来を担う美術家たち DOMANI・明日展2012 文化庁在外研修制度の成果」	28	企画競争	—
10	日本児童・青少年演劇劇団協同 組合	次代の児童・青年演劇人育成 連続講座	25	企画競争	—

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額	入札者数	落札率
1	(社)伝統歌舞伎保存会	人材確保事業(小学生のための歌舞伎体験教室)	21	企画競争	—
2	(公社)日本舞踊協会	新進芸術家の育成事業(平成25年各流派合同新春舞踊大会)	20	企画競争	—
3	(公社)能楽協会	人材確保事業(さわってみよう 能の世界)	17	企画競争	—
4	石州半紙技術者会	人材確保事業(石州半紙人材育成)	11	企画競争	—
5	(一社)日本伝統芸術国際交流協 会	新進芸術家の育成事業(次代を担う伝統芸能の新進芸術家育成公演)	10	企画競争	—
6	文化財庭園保存技術者協議会	新進芸術家の育成事業(文化財庭園保存管理技術技術育成研修)	6	企画競争	—
7	(公財)江戸糸あやつり人形結城 座	人材確保事業(江戸糸あやつり人形 結城座人形遣い体験育成入門)	6	企画競争	—
8	(一社)全日本刀匠会事業部	研修事業(刀剣製作に関する技術研修会)	6	企画競争	—
9	祭屋台等制作修理技術者会	研修事業(祭屋台等の保存技術者研修事業(漆工・からくり人形・木工))	4	企画競争	—
10	(公財)日本民謡協会	新進芸術家の育成事業(少年少女・青年層に対する民謡民舞育成事業)	3	企画競争	—

D.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額	入札者数	落札率
1	(株)JTBコミュニケーションズ	優れた舞台芸術の公演(巡回公演事業)、または学校に芸術家を派遣し、講話、実 技披露等を実施(派遣事業)することにより、子どもたちが文化芸術に触れる機会 を提供するほか、その業務の連絡調整及び執行に必要な事務を行う。	4,259	企画競争	—

E.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額	入札者数	落札率
1	(特活)関西フィルハーモニー管弦楽団	巡回公演の実施(本公演「オーケストラ／「舞踏会の美女」ほか」及びワークショップ)	101	企画競争	—
2	(財)神奈川フィルハーモニー管弦楽団	巡回公演の実施(本公演「オーケストラ／「カルメン前奏曲」ほか」及びワークショップ)	97	企画競争	—
3	(財)オペラアーツ振興財団	巡回公演の実施(本公演「音楽劇／「カルメン」」及びワークショップ)	88	企画競争	—
4	(財)日本センチュリー交響楽団	巡回公演の実施(本公演「オーケストラ／「カルメン」ほか」及びワークショップ)	79	企画競争	—
5	(有)オペラシアターこんにゃく座	巡回公演の実施(本公演「ミュージカル／「森は生きている」ほか」及びワークショップ)	78	企画競争	—
6	(財)スターダンサーズ・バレエ団	巡回公演の実施(本公演「バレエ／「シンデレラ」ほか」及びワークショップ)	77	企画競争	—
7	(財)東京シティ・バレエ団	巡回公演の実施(本公演「バレエ／「コッペリア」」及びワークショップ)	77	企画競争	—
8	(株)東京演劇集団風	巡回公演の実施(本公演「ミュージカル／「星の王子さま」」及びワークショップ)	75	企画競争	—
9	(有)谷桃子バレエ団研究所	巡回公演の実施(本公演「バレエ／「白鳥の湖」ほか」及びワークショップ)	71	企画競争	—
10	(有)劇団ドリームカンパニー	巡回公演の実施(本公演「ミュージカル／「ハロー、天使です！」」及びワークショップ)	66	企画競争	—

F.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額	入札者数	落札率
1	(特活)PAVLIC	学校に芸術家を派遣し、講話、実技披露等を実施(派遣事業)することにより、子どもたちが文化芸術に触れる機会を提供するほか、その業務の連絡調整及び執行に必要な事務を行う。	33	企画競争	—
2	(特活)中野ケアセンターterrace	学校に芸術家を派遣し、講話、実技披露等を実施(派遣事業)することにより、子どもたちが文化芸術に触れる機会を提供するほか、その業務の連絡調整及び執行に必要な事務を行う。	33	企画競争	—
3	(特活)芸術家と子どもたち	学校に芸術家を派遣し、講話、実技披露等を実施(派遣事業)することにより、子どもたちが文化芸術に触れる機会を提供するほか、その業務の連絡調整及び執行に必要な事務を行う。	19	企画競争	—
4	次代を担う子どもの文化芸術体験事業(派遣事業)岩手県実行委員会	東日本大震災の被災地の学校等に芸術家を派遣し、講話、実技披露等を実施(派遣事業)することにより、子どもたちが文化芸術に触れる機会を提供するほか、その業務の連絡調整及び執行に必要な事務を行う。	17	企画競争	—
5	仙台市震災復興のための芸術家派遣事業実行委員会	東日本大震災の被災地の学校等に芸術家を派遣し、講話、実技披露等を実施(派遣事業)することにより、子どもたちが文化芸術に触れる機会を提供するほか、その業務の連絡調整及び執行に必要な事務を行う。	13	企画競争	—
6	財団法人島根県文化振興財団	学校に芸術家を派遣し、講話、実技披露等を実施(派遣事業)することにより、子どもたちが文化芸術に触れる機会を提供するほか、その業務の連絡調整及び執行に必要な事務を行う。	11	企画競争	—
7	(特活)子ども劇場東京都協議会	学校に芸術家を派遣し、講話、実技披露等を実施(派遣事業)することにより、子どもたちが文化芸術に触れる機会を提供するほか、その業務の連絡調整及び執行に必要な事務を行う。	11	企画競争	—
8	「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」みやぎ実行委員会	東日本大震災の被災地の学校等に芸術家を派遣し、講話、実技披露等を実施(派遣事業)することにより、子どもたちが文化芸術に触れる機会を提供するほか、その業務の連絡調整及び執行に必要な事務を行う。	11	企画競争	—
9	ふくしま次代を担う子どもの文化芸術体験事業実行委員会	東日本大震災の被災地の学校等に芸術家を派遣し、講話、実技披露等を実施(派遣事業)することにより、子どもたちが文化芸術に触れる機会を提供するほか、その業務の連絡調整及び執行に必要な事務を行う。	10	企画競争	—
10	公益財団法人山本能楽堂	学校に芸術家を派遣し、講話、実技披露等を実施(派遣事業)することにより、子どもたちが文化芸術に触れる機会を提供するほか、その業務の連絡調整及び執行に必要な事務を行う。	9	企画競争	—

G.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額	入札者数	落札率
1	東京三菱UFJリサーチ & コンサルティング(株)	文化庁において選定した優れた舞台芸術を行う団体が、学校の体育館で公演を実施する巡回公演事業について、これまで以上に内容を充実するとともに質の向上を図るために必要な、効果や課題について検証を行う。	25	企画競争	—